

サンディエゴ訪問見合わせに関する主な経緯について

10月15日の週に、米国カリフォルニア州南部の複数か所で、ほぼ同時に山火事が発生。

10月22日(月)

新聞報道及びウェブサイト等で、情報収集

10月23日(火)

- 10:00 ビショップ会長に電話で現地状況を聴取(国際政策室)
高橋横浜市ロサンゼルス事務所長(以下、高橋所長)(現地時間23日から現地入り)、現地情報の収集を指示(国際政策室)
カリフォルニア大学サンディエゴ校(以下、UCSD)の休校を確認。(市大)
- 夕刻 サンディエゴ市役所儀典長からのメール受信 [関連資料1](#)
「市長や職員は、この非常事態において市民の救援に全力を挙げ、それらに対応するため、市長、職員とも、事前に計画された日程に従うことは不可能と存じます。」

10月24日(水)

- 7:45 在ロサンゼルス総領事館からの現地情報 [関連資料2](#)
高橋所長からの現地情報(現地時間23日付) [関連資料3](#)
「現地のメディア情報では、サンディエゴは非常に厳しい状況にある。」
- 8:00 在ロサンゼルス総領事館及びジェットロ・ロサンゼルスセンター所長に
現地状況確認(国際政策室)
- 8:35 市長へ現地の状況を報告
- 11:00頃 市大とUCSDの提携調印式中止を決定(市大及びUCSD)
(大学教員の家族なども一部避難所へ待機との情報あり。)
- 12:00 報道情報入手
・火勢は衰えず、避難者数増加(91万人に)
・ブッシュ大統領の非常事態宣言発令
- 17:00頃 25日の出張見合わせを決定
それ以降の日程については、推移を見守ることとする。
- 19:00頃 記者資料配布(米国出張の日程変更(延期)について)
- 22:00 高橋所長ほか現地に、市長の出張見合わせを連絡

10月25日(木)

高橋所長からの現地情報(現地時間24日付)

現地時間24日10:00に、高橋所長がサンディエゴ市役所儀典長に
面会→「横浜市の適切な判断に感謝する」旨の回答があった。[関連資料4](#)
高橋所長から、50周年事業の中、公式行事の中止の連絡が入る。

10月26日(金)

高橋所長からの現地情報受領(現地時間25日付)

50周年事業の公式行事の中止・変更状況報告

サンディエゴ郡については、消火活動・住民避難継続中

11:15 友好使節団結団式において状況報告(国際政策室)

14:00 市長ヘロサンゼルス・サンフランシスコの現地情報提供(国際政策室)

→ さらに推移を見守る

夕刻 サンディエゴ市長、ビショップ会長宛市長名お見舞いとねぎらいのメッ
セージ送付

10月27日(土)

高橋所長からの現地情報(現地時間26日付)

10月28日(日)

高橋所長からの現地情報(現地時間27日付)

ロサンゼルス市内については、出張に支障が無い。

17:00 ロサンゼルス以降の日程について出張することで決定(29日出発)
同時に、記者資料配布